

公民館におけるデジタル活用の取組

文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

公民館のICT化 ～新しい技術を活用した「つながり」の拡大～

社会教育施設の課題と可能性

(令和2年9月24日第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理より)

- ・パソコンやWi-Fiの設置など、社会教育施設におけるICT環境整備の現状は、決して十分とは言えない。
- ・新しい技術を有効に活用することにより、これまでの社会教育施設を利用する機会が少なかった住民等、多様な交流や人と人とのつながりを大きく広げる可能性がある。

公民館における無線LANの整備状況

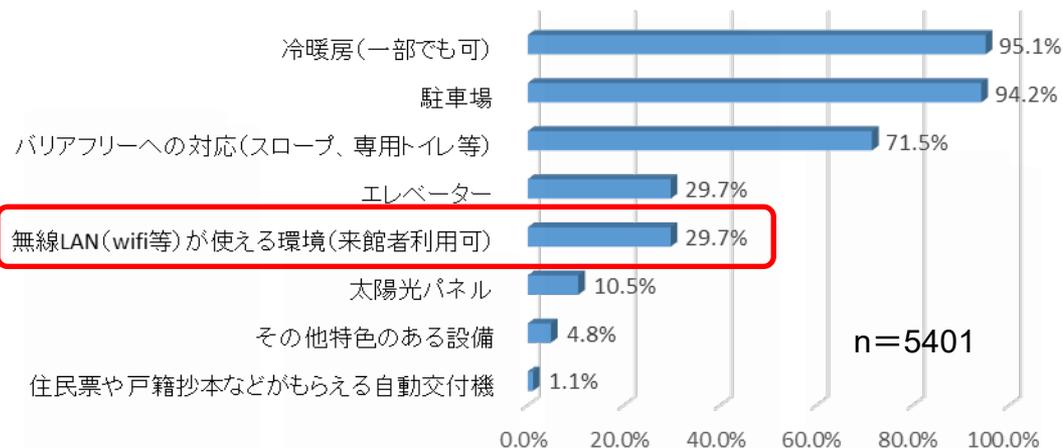


図9-2 公民館の設備(複数回答)



※全国公民館実態調査(全国公民館連合会 平成31年1月時点)

「デジタル・ディバイド解消」に向けた取組 (千葉県船橋市)

現状・背景

- 公民館利用者からスマホの使い方に関する質問が多い（公民館職員の実感として）
 - スマホやタブレットを利用したいのに使い方がわからない人が多い（利用者アンケート結果から）
 - 国や本市の計画等におけるデジタル化及びDXの推進
- ⇒**個人の要望（住民の主体的な学習ニーズ）と社会的要請（地域で解決していくべき課題）に対応する取組が必要**

事業実施体制



事業実施のポイント

- ①民間企業との連携
 - ②EBPMの視点
 - ③各取組の一体的推進
 - ④持続可能な仕組み作り
 - ⑤スモールステップ（できることから少しずつ）
- 

事業の概要

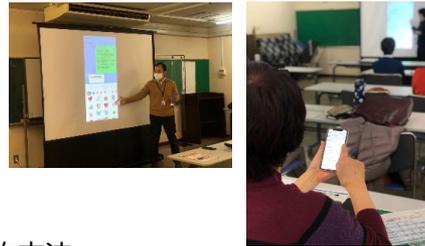
デジタル・ディバイド対策講座 (R3~)

携帯電話事業者等と連携して市内の**全公民館（26館）で140回以上の体験講座を実施**



〔具体的な講座内容〕

- スマートフォンやタブレットの操作方法
- LINE、ZOOM等のコミュニケーションツールの使い方
- ネットショッピング、キャッシュレス決済の方法



公民館スマホコンシェルジュサービス (R3~)

公民館利用者からのスマホに関する質問に対応して公民館職員がサポート



市民スマホコンシェルジュ養成講座 (R4~)

デジタル・ディバイド解消のための**地域ICT人材を養成**
スマホに関する**市民の悩みを市民がサポート**

修了者にはボランティア講師としての活動が期待される



目指す姿

事業目標

市民がスマートフォンやタブレットを活用して日常生活に必要な情報を入手したり、利便性のあるサービスを活用できるようにする

事業評価

「端末・機器は持っているが使い方がわからない」又は「使い方がわからず端末・機器の購入に踏み切れない」ことが理由でインターネットを利用しない人を今後10年間で0にする（船橋市公民館利用者アンケート）

船橋市の目指す社会像

生涯をとおして自分らしく学び続け、学びの成果を活かすことができる社会の実現
【第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画の基本理念】

寿都町デジタル寺子屋「公民館ICT活用」 (北海道 寿都町総合文化センター)

～ 公民館のICT (Wi-Fi) を活用した子どもの放課後等学習支援 ～



背景・目的

寿都町では、GIGAスクール構想実現のため、早い段階でのICT機器の導入を実施するとともに、感染症拡大等による臨時休校への備えとして、オンラインでの学習モデルに取り組んでいる。

様々な場面でのICT機器の活用は、これからの子どもたちの必須アイテムとして必要であり、学校はもとより社会教育施設でのWi-Fi環境を整備し、より活用しやすい状況を構築している。

Wi-Fi環境が整ったスペースを、放課後や長期休業時のオンライン学習の場として、ICT機器の活用を推進する。

学童保育でのデジタル教材を活用した「放課後学習」

学校で利用しているAIドリルを学童保育で活用した学習会を実施。子どもたちは、端末の操作にも慣れてきていて、自分がやりたい科目のドリルを開き学習をすすめていた。

児童一人ひとりが、自分の端末を使い、学校で使用しているAIドリルをオンラインで活用することにより学習の充実につながった。



Wi-Fi環境整備の効果

社会教育施設に整備したWi-Fiを放課後の時間帯にも活用し、学習活動に役立てることができた。児童が一人1台の端末の操作に慣れるために、オンライン学習の機会を引き続き行う



学童保育でのAIドリルの活用

放課後子ども教室での「お守り作り」体験

参加した子どもたちはTV会議システムでつないだ講師からお守りについての説明を聞いたり、動画を見たあとに、各自が創意工夫してお守り作りに取り組んだ。講師は、子どもたちの様子を画面で確認し、質問があったら答えるなど円滑にコミュニケーションをとっていた。



放課後子供教室での講師の説明

公民館 Wi-Fi導入・公民館Wi-Fi活用講座（福岡市公民館）

公民館にWi-Fi整備

新型コロナウイルス感染症により新しい生活様式の実践が求められる中、福岡市では地域のデジタル化の促進や災害に強いまちづくりの一環として、すべての公民館でWi-Fi環境整備を進めており、令和3年11月から公民館Wi-Fiの利用を開始した。

福岡市公民館Wi-Fi活用講座

公民館Wi-Fiを市民により一層活用いただくために、各公民館で「福岡市公民館Wi-Fi活用講座」を開催している。

【実施期間】 令和3年12月～令和4年3月

【実施場所】 福岡市内公民館(勝馬・曲淵分館を除く)

【対象者】 スマートフォン、タブレットなどをお持ちでインターネットに不慣れな方

【定員】 15名(1館につき)

【参加費】 無料

【講座内容】 Wi-Fiへの接続、インターネット(福岡チャンネル)での動画視聴、テレビ電話、行政手続きをスマートフォンから申請する操作体験など



福岡市別府公民館での様子(11月19日(金)10時～12時)

公民館 Wi-Fi導入とYouTubeチャンネルの開設（富田林市公民館）

公民館にフリーWi-Fi整備

学習環境の向上及び災害時における情報提供などを目的に、新たに富田林市内の市立公民館および図書館において、無料でインターネットに接続できる公衆無線LANを整備した。（令和3年10月1日より提供開始）

YouTubeチャンネルの開設

富田林市立公民館のYouTube公式チャンネルを開設。オンライン公民館として、公民館講座の様子や公民館クラブの活動の様子などを配信している。

スマートフォン講座

デジタルディバイド解消に向けたスマホ教室も実施

富田林市立中央公民館 冬期講座

スマートフォン講座

～基本操作編～

スマートフォン（スマホ）を購入したけれど上手く使いこなせない、などとお悩みの方はいらっしゃいませんか？スマホは、コツさえつかめば、カンタンに使いこなすことができる便利なツールです。同じ仲間と一緒に楽しく学びましょう。

■ 内容

スマートフォンの電源の入れ方、タッチ操作をはじめとする基本的な操作から地図アプリの使い方など簡単に便利な機能について学びます。講座終了後には、個別の質疑応答もできますので、お気軽にご参加ください。



富田林市立中央公民館 冬期講座

スマートフォン講座

～LINE・インターネット編～

スマートフォン（スマホ）を購入したけれど上手く使いこなせない、などとお悩みの方はいらっしゃいませんか？LINEを始めたいけど、どうしたらいいかわからない・インターネットの有効な利用方法がよくわからない本講座は、そのような方におススメです。同じ仲間と一緒に楽しく学びましょう。

■ 内容

LINEの始め方からやりとりの操作方法（インストール、初期設定、友達追加など）その他、日常生活で役立つカメラやインターネットの使い方が学べます。



ICT活用による多様な参加・交流の創出（高浜町立和田公民館）

高浜町立和田公民館（福井県）

対面式とオンラインの両面で講座実施

閉館を余儀なくされた令和2年4月は、オンラインで講座を実施した。**現在、オンラインと対面式を並行でも実施。**

その講座は、「健康体操教室」「認知症予防体操教室」「ぽかぽか元気体操教室」など。今後も、感染状況や住民ニーズに応じて様々な講座を実施する予定。



対面とオンラインの両面で実施した「健康体操教室」の様子

普段参加できない人（福祉施設から）もオンラインで参加



オンライン体操教室の様子
（福祉施設からも参加）

オンラインで実施したことにより、「体操教室」は、**町内の二か所の福祉施設からオンラインで参加**もある。

オンラインと対面の両面での講座実施は、新型コロナウイルス収束後も需要があると考えており、今後も、体操教室などで「オンライン講座」を継続的に実施し、より幅広い年代、地域の人々と繋がれる公民館を目指す。



～公民館の利用・講座参加時のお願い～

- ・来館の際は、玄関に設置のアルコール消毒液で手の除菌をお願いします。
- ・発熱、咳等かぜ症状がみられる場合、公民館利用は控えてください。
- ・密空間である【音楽スタジオ】の複数名でのご利用は、当面の間自粛していただき、使用される場合は必ず1時間ごとの換気、消毒の徹底等をお願いします。



オンラインでキッズヨガ教室
-4月21日・23日・25日・28日・30日、5月2日-

和田公民館としては初めての「オンライン講座」を開催し、まずは町内の子どもたち向けに、計6回キッズヨガを行いました。
当日のキッズヨガでは、講師の浅野容子さんの動きを見ながら、参加してくれた子どもたちは楽しそうにヨガを体験していました。2週目には、和田放課後児童クラブの子どもたちにも参加いただき、大変盛り上がりました。

広島県 福山市 「公共施設のスマート化」

市内の公民館等に、スマートロック、フリーWi-Fi、インターネットPCを追加配備し、住民にとって最も身近な公共施設である公民館等をスマート化し、地域住民の利便性向上、デジタルリテラシーの向上を目指す。

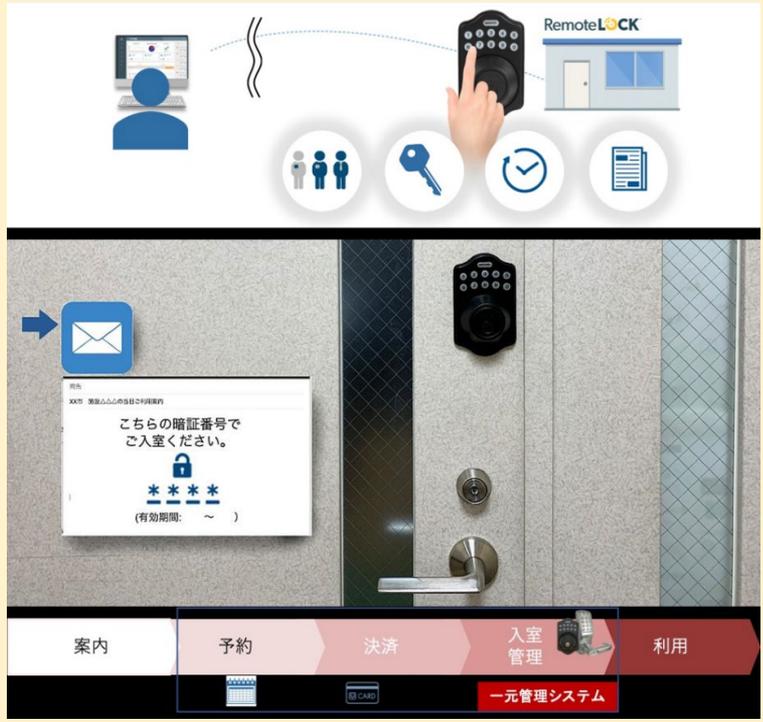
フリーWi-Fi等
整備

- 公民館等にフリーWi-Fiを整備し、利用者の利便性向上につなげる。また、フリーWi-Fiのパスワード一括管理が可能な管理ネットワークを構築し、より強固なセキュリティ環境を整える。
- 全館に1台ずつインターネットパソコンを追加整備し、業務におけるデジタル技術の活用を促進する。

オンライン予約・
スマートロック

- オンラインでの貸室予約を可能とするとともに、利用者に1回限り・時間限定のパスワードを通知する「スマートロック」を導入することで公民館等の利用時に必要な、鍵の受け渡しを不要とする。

<オンライン予約・スマートロック利用イメージ>



- ✓ 公民館等に従来の物理的な鍵方式に加え、パスワード方式のスマートロック機器を設置する。
- ↓
- ✓ 利用者は、オンラインで貸室を予約するとともに、パスワードをメール等で事前に受け取り、公民館等に設置されたスマートロック機器にパスワードを入力し解錠。
- ↓
- ✓ 鍵の受け渡しが不要となり、窓口での対応負荷が軽減される。
- ↓
- ✓ 仕事をしており、鍵の受け渡しが困難な世代も、休暇等を取得して鍵を受け取りに行く必要がなくなるため、時間的制約から解放され、様々な年代が、より気軽に公民館等を利用することが可能となる。

※広島県福山市 実施計画書から抜粋 (画像は㈱構造計画研究所のサービス)

アクセス解析ツールを活用した新たな利用層の開拓（長崎市北公民館）

背景

課題は、“利用者の固定化”と“年齢層の偏り”

長崎市北公民館では、自主学习グループを中心に盛んに活動が行われている一方で、利用者の固定化、年齢層の偏り(高齢者が多い)があり、将来的に利用者が減少し活動も先細りになるのではという問題意識を抱えていた。

ホームページのアクセス解析で訪問ユーザーを分析

訪問ユーザーの特徴は？

ホームページのアクセス解析サービス(無料)を活用したところ、サイトのメインユーザーは、25～44歳の女性であることが分かった。しかし、この子育て世代と思われる女性たちは、サイトにアクセスしているにもかかわらず、実際に公民館に足を運んでいなかった。



訪問ユーザーに情報を届けるには？

訪問ユーザーに向けて広報ツールの工夫

ホームページなどに加え、子どもを通じて、その親に情報が伝わるように、近隣の小学校にQRコード付きのリーフレットを配布。

応募者の92%がインターネットからの申し込みがあった。



訪問ユーザーが参加したい講座は？

訪問ユーザーをターゲットに講座をリニューアル

ホームページをよく見てくれる25～44歳の女性なら、公民館の利用者になり得ると考え、子育て世代が多いという想定のもと、冬休みに親子で参加できる講座をコンセプトに継承発展させ、複数の講座をパッケージ化したオムバス講座「北公民館の冬じたく」を開講。



親子向けつまみ細工講座



親子向け手打ち蕎麦体験

講師発掘にも一工夫

ハードルを下げて講師を引き受けてもらいやすく！

多種多様な地域人材を探しだし、少人数・小規模講座ということで、引き受けてもらいやすく、次世代の公民館を担う講師を発掘できた。



新たな利用層の開拓

参加者の年齢層も子育て世代が主と思われる30～40歳代が70%以上を占める結果となり、利用者層の拡大につなげることができた。



UP

